

《令和8年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

令和8年4月1日 現在

施設名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容 (計画)
相談支援センター	多様で複雑な課題を持つ患者・家族の相談支援の質向上と体制整備	相談者の課題は、再発不安、行動化の困難、医療者との関係性の問題、経済的問題など、多様かつ複雑である。そのため、相談者一人ひとりに応じた適切な支援を提供できる体制の強化が必要である。	事例検討および多職種カンファレンスを実施し、医師・看護師・MSW等の多職種間で支援方針を共有・統一する。特に、経済的・生活上の課題を持つ相談者に対しては、MSWとの連携を強化し、社会資源や制度に関する情報を活用できるよう整備し、支援の充実を図る。	令和8年 11月～ 12月					
	相談支援の可視化と標準化の推進	相談支援は、多領域で専門性が高い。その支援は、相談員個人の経験や力量に委ねられており、組織として標準化された支援プロセスや判断基準が十分に整備されていない。	相談者の属性や相談内容等の結果報告を蓄積し、その結果から効果的な支援方法を見出し、整理する。また、困難事例については事例検討を行い、効果的な支援方法を見出し、整理する。整理した支援方法に基づき基準・手順・フローを作成し、相談内容や対応内容が明確かつ適正に記録される体制を整備する。さらに、受付用紙の運用方法も整備し、支援の可視化と標準化を図る。加えて、初診時のスクリーニングを活用し、就労・経済面の課題を早期に把握し相談支援につなげる体制を強化する。	令和8年 11月～ 12月					
	がん医療に携わる専門性の高い医療従事者の育成	がん患者の療養生活の多様化に伴い、就労や経済面、外見の変化（アピアランス）に関する課題など、治療と生活の両立支援のニーズが高まっている。これらの課題は潜在化しやすく、早期に適切な支援介入が求められる。相談支援体制の充実および適切に対応できる看護師をはじめとする医療者を育成する必要がある。	●院内医療従事者に対し、アピアランスケアの学習会や就労支援の周知を強化し、事例検討を通じて支援力の向上を図る。さらに、「がん患者指導管理料ロ」や「療養就労両立支援指導料」の診療報酬の対象となる支援を効果的に行う。また、相談支援センター相談員および外来看護師を中心に、両立支援コーディネーター研修の受講を推奨し、専門的知識を有する人材の育成を行う。また、就労や経済面においては、がん相談支援センターを中心に、ハローワーク・社労士・MSWとの情報共有会や制度改正の学習会を実施し、連携体制を強化する。	令和8年 11月～ 12月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。